

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人報徳食品支援センター	神奈川県	神奈川県西部（静岡含）子ども食堂支援事業～常温食品・冷凍食品の安定供給網の確立～	神奈川県西部を縦断する国道255線沿いで稼働している150坪ほどの当フードバンク「報徳食品支援センター」には、すでに2坪ほどのパネル式冷凍庫が配備されており、常温品と冷凍品による食品配布事業が稼働している。そこを軸にして、東は平塚市、北は秦野市、西は静岡県富士市までの「子ども食堂」約60か所をカバーする冷凍冷蔵品の食品支援網を構築する。
子どもから地域へ拡がれネットワーク	熊本県	熊本食の物流ネットワーク整備プロジェクト	<p>①熊本市内に寄付食材等を受け入れる熊本市のロジ拠点、県内の玉名・阿蘇・天草・八代・球磨の各地域にハブ拠点（5ヶ所）を設けるとともに、ハブ拠点から地域のこども食堂に冷凍 冷蔵 常温などすべての食材を届けることができる仕組みづくりを行う。</p> <p>②衛生管理等の研修や企業等との意見交換なども開催していく。</p> <p>③熊本県としては初めてとなる、子ども食堂コーディネーターの配置を行い各子ども食堂運営者がより安心して運営ができる体制を作る。</p>
特定非営利活動法人ゆめみ～る	北海道	日高・胆振子ども食堂等ネットワークの構築プロジェクト	<p>特定非営利活動法人ゆめみ～る建屋別館に大型冷凍庫、食材保管ラック、作業テーブルなどを設置するスペースを確保してロジ拠点として運用します。</p> <p>特定非営利活動法人ゆめみ～る建屋別館に冷凍ストッカーを設置して登別・白老エリアのHUB拠点を運用します。室蘭市、苫小牧市、伊達市、新ひだか町に冷凍ストッカーを設置してHUB拠点とし、近隣エリアの子ども食堂等の共有食材保管拠点を運用します。</p> <p>ロジ拠点-HUB拠点間の食材配送を行います。</p> <p>日胆食堂ネットワークへの参加食堂・団体の獲得を行います。</p> <p>新規に子ども食堂等の立上げを検討している個人、団体の支援を行います。</p> <p>食材の寄贈元開発を行います。</p>
NPO法人神奈川フードバンク・プラス	神奈川県	神奈川県東南部での配送拠点構築事業～横浜市南部から横須賀市周辺地域の子ども食堂に配送する物流拠点を整備する～	<p>横浜市南部地域から国道16号線沿いに横須賀市・三浦市、逗子市にかけての地域を対象とする。地域の人口は、1,238千人。対象となる子ども食堂は、コロナ禍以前の状態で推計32ヶ所。提供食数は約1400食。拠点となるNPO法人神奈川フードバンク・プラスは、2020年12月に新たに活動拠点を京浜急行堀の内駅前に移転した。新事務所・倉庫は床面積73㎡あり、これまでのフードバンク活動に加えて、新たに子ども食堂への配布活動を行える能力を十分に要する。神奈川フードバンク・プラスの2020年度の扱ひ量は、推定25トンの規模。</p> <p>横浜市：金沢区、港南区、磯子区、栄区</p>
特定非営利活動法人秋田たすけあいネットワークあゆむ	秋田県	あきたのこどもを「食」で応援 食糧支援・食材提供の拠点整備	<p>秋田県の相対的貧困率が高く、ひとり親の貧困率も高い。親が貧困であるということは、そのこどもも貧困である。行政の貧困対策の取り組みもスピード感を感じられない。対策の遅れも問題だが、子ども食堂の実施数も全国最下位。こども食堂ネットワークもいつまでも立ち上がらない。困窮世帯への支援もバラバラで一貫性がないことから、本格的な秋田県こども食堂ネットワークを設立するためのネットワークづくりを設立し、情報発信、情報共有、食品提供、こども食堂を始めたい人へのノウハウ、相談を行い、本格的なネットワーク構築のための準備を行いながら、こども食堂が地域に果す役割、居場所、安心できる場として必要であるということを訴えながら、こども食堂を増やしていきたい。それと同時に食糧支援・食材提供の拠点整備をし、秋田県内のこども食堂、居場所事業への支援をしていく。</p>

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人埼玉フードパントリーネットワーク	埼玉県	中間拠点整備及び冷凍/冷蔵ストッカー貸与事業	<p>■中間拠点整備事業 ねらい：現状の中間拠点の問題を解消することで、全ての中間拠点が物流ハブ拠点として機能することを目指す。</p> <p>①食品保管庫の設置、対象：見沼中間拠点・川口中間拠点 ねらい：不足する保管スペースの確保と、独立した倉庫機能を持つことで利用時間の制約等を解消する。 (現在は企業や寺院の建屋内のため、利用時間や事前申請などの制約が多い)</p> <p>②冷凍/冷蔵庫の設置、対象：見沼中間拠点・川口中間拠点 ねらい：現在中間拠点で唯一冷凍/冷蔵庫が無い見沼中間拠点に冷凍/冷蔵庫を新設し、容量不足となりつつある川口中間拠点へ増設することで、全ての中間拠点で全ての食品保存形態(温度帯)が可能になる。</p> <p>■冷凍/冷蔵ストッカー貸与事業 ねらい：購入予算の都合で冷凍庫を保有していないパントリーに対し無償貸与することで、冷凍食品の配布を可能とする。全てのパントリーで冷凍食品が配付できることを目指す。</p>
特定非営利活動法人ら・ら・ら	東京都	「食」を通した子どもの居場所の確保事業	<p>新型コロナウイルスの影響により、経済的に困難を抱える家庭が増加している。また、感染リスクを恐れて外出そのものを控える中で、登校することに困難を抱えたり不登校や引きこもりになる子どもが増えている。不登校・引きこもりの子どもたちは、食生活をはじめとする日常生活そのもののリズムが崩れがちである。</p> <p>当法人がひとつのハブ拠点なり、人口20万超を有する世田谷区玉川地域に存在している各子ども食堂とのネットワークの構築、新しい支援の形として子どもとの関わりが一番多い教育機関(幼稚園や小学校)などの子どもの居場所とのネットワークを繋いでいくことで、地域に住む子ども達へ安定的な食の供給をきっかけとした、親への情報提供や子ども達の居場所の確保等に向けて活動していく。</p> <p>事業後はネットワークの幅を更に広げられるように地域コミュニティを強化していく。</p>
鳥取市地域食堂ネットワーク	鳥取県	麒麟のまち地域食堂ネットワーク拠点整備プロジェクト	<p>鳥取市と周辺4町、兵庫県2町で「麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成し、圏域における地方創生の充実・発展を図り、圏域全体の活性化・持続的発展を目指した取組が進められている。</p> <p>鳥取市地域食堂ネットワークは、この麒麟のまちづくりの取組と連動し、様々な機能をもつ「地域食堂」の取組を住民の生活圏域において展開することで、子ども・高齢者・障がい者をはじめ多様な人たちが住みやすい魅力のあるまちづくりを目指している。</p> <p>本プロジェクトは、中核都市に集中する企業をはじめとする社会資源により得られる支援等を広域的に活用し、さらに近隣町のそれぞれの強みを生かした効果的な支援の仕組みづくりとなる。地域食堂の継続的・安定的な運営のためには豊富な食材の確保が必要であり、それを管理・活用するロジ拠点とハブ拠点の整備を図っていくものである。</p>